令和８年度　　宇都宮市立平石北小学校　学校評価書

※　網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

１　教育目標（目指す児童像含む）

⑴基本目標　心身ともに健康で，自ら考え主体的に行動し，徳・知・体の調和のとれた人間性豊かでたくましく生きる児童を育成する。

⑵具体目標　・　思いやりがあり協力し合える子（心ゆたかで）
・　進んで学び自ら考える子（かしこく）
・　心と体をきたえる子（たくましく）

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

「地域と共に歩む学校」
児童と保護者と地域住民の思いを大切にし，地域の教育資源の有効活用を図りながら，創意工夫のある教育活動を実践する学校

３　学校経営の方針（中期的視点）　※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に〇印を付ける。

⑴目指す学校の姿
ア　児童が主役の学校　　イ　笑顔あふれる学校　　ウ　安全・安心な学校

⑵目指す教職員像
ア　思いやりがあり協力し合える教職員　イ　進んで学び自ら考える教職員　ウ　心と体をきたえる教職員

⑶学校経営方針
ア　思いやりがあり協力し合える子（心ゆたかで）　・不登校・いじめ問題等への未然防止・早期対応
・互いに認め合い高め合う学級経営の推進
イ　進んで学び自ら考える子（かしこく）　・宇都宮モデル「はっきり・じっくり・すっきり」の実践
・「自分の考えをもち，ともに学び合う児童の育成」の追究
ウ　心と体をきたえる子（たくましく）　・体力・保健・食育・安全を一体とした健康教育の推進

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】自分でよく考え　　未来に向かって　　たくましく生きる子供の育成

４　教育課程編成の方針

社会に開かれた教育編成のため，カリキュラムマネジメントの視点から，一貫性，相互関連性のある教育課程・各種年間指導計画を作成し，教育活動を展開する。
⑴各教科の教育内容を相互関係でとらえ，教科横断的な視点で内容を組織的に配列する。
⑵子供たちの姿や地域の現状に基づき，教育課程を PDCA サイクルで実施改善する。
⑶小規模校の特性を生かし，教育内容と地域等の外部も含めた人的・物的な資源を効果的に組み合わせる。
（体験活動・出前授業・ボランティア活動・平北ファーム・幼小交流活動　等）

５　今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に〇印を付ける。

⑴学校運営
・学校マネジメントシステムを生かした活気あふれる学校づくりの推進
・育てたい児童の姿を明確にした教育活動の充実
・業務の効率化を意識した働き方の推進
・教職員一人一人のキャリアアップと高い同僚性を十分に生かした組織力の向上

⑵学習指導
〇・自分の考えをもち，ともに学び合う児童の育成～言葉で考える，言葉でつながる，言葉で成長する～

⑶児童生徒指導
・規範意識を高め，多様性を認めて支え合い，安心して過ごせる集団づくり
〇・互いを認め合い，励まし合う指導を通した，自己肯定感や自己有用感の育成

⑷健康（保健安全・食育）・体力
・自ら進んで安全な生活を送り，心と身体の健康づくりに取り組む児童の育成

6　自己評価　A1～A21は市共通評価指標　B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評　価
１－（１）確かな学力を育む教育の推進	Ａ１　児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者 肯定的回答 85%以上	・ねらいや学習内容，児童の実態等に応じてペア学習やグループ学習を取り入れ，学び合いの充実を図る。 ・目指す児童の姿を想定して中心発問を設定するとともに，児童の考えを広げ深めるようコーディネートする。 ・家庭学習の一助にもなるよう，学習の様子をホームページで紹介し，啓蒙する。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（２）豊かな心を育む教育の推進	Ａ２　児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者 地域住民 肯定的回答 85%以上	・道徳科や学級活動において，思いやりの心の大切さや親切な行動について考え，話し合う活動を行う。 ・なかよし班活動等の異学年交流活動を通し，互いを思いやる気持ちを育む。 ・各教育活動において，時と場，相手の気持ちに配慮した言葉遣いを指導する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ３　児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者 肯定的回答 80%以上	○児童会活動や委員会活動，学校行事において継続的に努力している児童へ「平北レンジャーカード」やシールを渡すなどにより，多くの教職員が児童の実践をきめ細かく見取り，認め励ます指導を推進する。 ・各種検定カードや「宮・未来キャリアパスポート」の振り返りカードを通し，保護者から児童の頑張りを称賛してもらうことにより，家庭においても児童の達成感や自己肯定感を高められるようにする。 ・夏休みの個人懇談や日々の電話連絡等で，児童の頑張っている姿を積極的に伝える。		【達成状況】 【次年度の方針】

1－（3） 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	Ａ４　児童は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者，地域住民 肯定的回答 85%以上	・児童が健康や安全に気を付けて生活できるよう，時と場に応じた過ごし方のルールやマナーについて各学級で話し合い，振り返りをすることで意識の高揚を図る。 ・各教育活動を通した児童への安全指導や委員会活動，校内掲示により，施設の安全な利用について意識の高揚を図る。 ・食育指導や保健教育，避難訓練の取組に関する情報を，各種便りやホームページにより発信し，家庭や地域への啓発を行う。 ・一斉下校指導の際に登下校の様子についての地域の声を伝えながら，児童が安全に登下校できるよう指導する。また，保護者や地域住民から危険箇所の情報を収集し，共有しながら，学校・家庭・地域が連携・協力して安全な登下校に向けた取組を推進する。 ・交通安全週間等の機会を活用し，各学級において放課後の過ごし方や交通安全について指導する。		【達成状況】 【次年度の方針】
1－（4） 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	Ａ５　児童は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 ⇒児童，教職員 肯定的回答 87%以上	・各行事や各種検定，めあてに対する取組を振り返る機会を設定し，自分自身のよさや成長を実感できるよう指導を工夫する。 〇学級での活動や児童会活動等において主体的に取り組んでいる様子や協力している姿を見取り，教師が認め，励ますとともに児童同士が認め合う場を設け，自己肯定感を高められるようにする。 〇ホームページや学校だより等を活用し，児童の活動の様子や活躍を積極的に発信することにより，家庭や地域と連携して児童を認め励ますことができるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
2－（1） グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進	Ａ６　児童は，英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 ⇒児童，教職員 肯定的回答 85%以上	・児童が英語に慣れ親しむことができるようにＡＬＴと連携を図りながら，授業展開や教材を工夫し，英語によるコミュニケーション活動の充実を図る。 ・ＡＬＴとの会食（給食）など，授業以外での時間に英語でのコミュニケーションを取る機会を設け，児童の英語への関心を高められるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ７　児童は，宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者 肯定的回答 80%以上	・平石地区や宇都宮市についての学習の際に，出前授業や校外学習などの体験学習の充実を図り，実感を伴って学ぶことができるようにする。 ・創立周年行事との関連を図り，平石地区の成り立ちなど，地域の歴史やよさへの関心を高める学習を設定するとともに，家庭における対話につなげられるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】

2－（2） 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	Ａ８　児童は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者 肯定的回答 85%以上	・発達の段階に応じてデジタル機器を効果的に活用し，学習の成果の累積を図る。 ・学校図書館司書と連携しながら，図書資料を活用した指導の充実を図る。 ・ホームページ等により，児童がデジタル機器や図書を活用して学習に取り組む様子を保護者に向けて発信する。		【達成状況】 【次年度の方針】
2－（3） 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	Ａ９　児童は，「持続可能な社会」について，関心をもっている。 【数値指標】 ⇒児童，教職員 肯定的回答 85%以上	・生活科における植物の栽培や，家庭科での資源の節制，総合的な学習の時間における環境問題に関する学習を通し，ＳＤＧｓに関する知識を高めるとともに，実践力を養う。 ・「持続可能な社会」についての関心が高まるよう，委員会活動において，リサイクルの推進や緑化運動を実施したり，それらの活動をポスターやスライドなどで全児童に紹介したりする。		【達成状況】 【次年度の方針】
3－（1） インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	Ａ10　教職員は，特別な支援を必要とする児童の実態に応じて，適切な支援をしている。 【数値指標】 ⇒教職員 肯定的回答 90%以上	・特別な支援を必要とする児童の情報を全職員で共有し，個に応じた支援の充実に向けた組織的体制を構築する。 ・教職員が日頃から児童に関する情報共有を行い，支援を必要とする児童への支援の方法や困り感などについて理解を深められるようにする。 ・必要に応じて外部機関との連携を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
3－（2） いじめ・不登校対策の充実	Ａ11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者，地域住民 肯定的回答 85%以上	・「いじめゼロ強調月間」に，道徳科においていじめについて考える授業を実施する。 ・いじめアンケートの実施，標語，名札の着用等を通じて「いじめを許さない」という意識の向上を図る。 ・児童会の平北レンジャーを活用することにより，いじめゼロ運動を児童の主体性を生かして展開する。 ・いじめゼロ集会の公開や各種便り，学級懇談会だけでなく，ホームページ等でもいじめに対する学校や児童の取組を積極的に発信していく。		【達成状況】 【次年度の方針】

	A12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者 肯定的回答 90%以上	・いじめ等対策委員会（不登校対策含）やケース会議等で関係職員が児童の様子についての共通理解を図り，組織的な対応策を検討する。 ・ＳＣＭ及び特別支援コーディネーターをはじめ，関係機関等の様々な外部組織と連携した対応を進め，より多くの意見をもとに解決に向けた取組を進める。 ・必要に応じた家庭訪問などにより，保護者と情報を共有し，連携を図りながら対応する。 ・学校生活における振り返りの場をもつことで，児童の活躍や頑張りを互いに認め合えるようにし，児童にとって居がいのある学校，学級となるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
3－（3）外国人児童生徒等への適応支援の充実 3－（4）多様な教育的ニーズへの対応の強化	A13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者，地域住民 肯定的回答 85%以上	・児童会活動や学校行事等において，児童一人一人が主体的に活動し，活躍できる場を積極的に設定する。 ・ホームページや各種たより等を活用し，学校の活動の様子を発信するとともに，学級懇談会等において児童の様子を伝えることで家庭と情報を共有しながら支援していく。		【達成状況】 【次年度の方針】
4－（1）教職員の資質・能力の向上	A14　教職員は，分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者 肯定的回答 80%以上	・児童が問いをもち，主体的に学習に取り組めるように，めあてをはっきり示し，すっきり解決する授業を展開を目指す。 ・習熟度別学習や少人数学習の実施，かがやきルームの活用など，個に応じた指導の充実を図ることで基礎・基本の定着を図る。 ・学力調査等の結果を分析し，児童の実態から見える課題を明らかにした上で，学校課題との関連に配慮した取組を検討し，学校全体で指導改善に取り組む。 ・授業参観や学級懇談会等において，児童の学びの状況について保護者へ具体的に説明する。		【達成状況】 【次年度の方針】
4－（2）チーム力の向上	A15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員 肯定的回答 95%以上	・教職員の多様な専門性を生かした指導・支援体制を整えていく。 ・出前授業等の実施計画を共有することで役割を明確にし，協力して運営に当たることができるようにする。 ・学習資料のデータや現物の蓄積及び整理と引継ぎを確実に行い，業務の効率化を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
4－（3）学校における働き方改革の推進	A16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員 肯定的回答 90%以上	・各行事の反省を累積して分析したり，教育課程の見直しをしたりすることで，学校運営や行事の実施方法の改善を図る。 ・見通しをもって計画的に職務を遂行することとともに，役割を明確化し，組織的に取り組むことで，業務の効率化を図る。 ・リフレッシュデーの徹底を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】

	A17　児童と向き合う時間を確保できている。 【数値指標】 ⇒教職員 肯定的回答 80%以上	・学級事務や環境整備等について，教員業務支援員やＩＣＴ支援員等と業務を分担することで，教員が授業準備及び児童対応に専念できる体制を整える。 ・学校行事や学年行事等について，本来の教育的意義や効果を再検討することで，児童の負担を軽減し行事の精選とスリム化を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
５－（１）全市的な学校運営・教育活動の充実	A18　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者，地域住民 肯定的回答 80%以上	・地域学校園での児童，生徒間の交流を図るとともに，地域学校園の取組や活動内容を各種たよりやホームページ等で発信する。 ・運動会の中学生によるボランティアや小中学生がともに行うあいさつ運動，中学校教員による乗り入れ授業，６年生の中学校訪問など交流活動の充実を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
５－（２）主体性と独自性を生かした学校経営の推進 ５－（３）地域と連携・協働した学校づくりの推進	A19　学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 ⇒教職員，保護者，教職員， 地域住民 肯定的回答 90%以上	・読み聞かせボランティア，農園ボランティアなど地域やＰＴＡと連携した取組を継続して実施する。 ・学校支援ボランティアの募集方法を工夫する。 ・地域協議会の意見を学校運営に生かす。		【達成状況】 【次年度の方針】
６－（１）安全で快適な学校施設整備の推進	A20　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ⇒教職員，保護者， 地域住民 肯定的回答 85%以上	・毎月の安全点検や日頃の環境整備を通して危険箇所や要修繕箇所の発見と迅速な対応に取り組み，児童や保護者，施設利用者の安全確保に努める。 ・熱中症指数計を設置したり，気象庁からの情報をこまめに収集したりすることで，気象災害への迅速な対応を図る。また，気象災害の恐れがある場合はさくら連絡網を活用して保護者へ迅速に情報提供を行う。 ・各教育活動を通した児童への安全指導や委員会活動，校内掲示により，施設の安全な利用について意識の高揚を図る。 ・各種たよりやホームページ，さくら連絡網等により，安全に関する情報を家庭や地域へ積極的に発信する。		【達成状況】 【次年度の方針】
６－（２）学校のデジタル化推進	A21　コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 ⇒教職員 肯定的回答 95%以上	・校内研修等で教師のデジタル活用のスキルを磨くとともに，ＩＣＴ支援員との連携を図りながら，１人１台端末を活用した授業実践のために必要なソフト環境等の整備に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】

小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等	Ｂ１　児童は，時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者，地域住民 肯定的回答 85%以上	・学級単位や代表委員会などで「さわやかあいさつ運動」を実施し，学校園あいさつ運動を推進する。 ・日頃から，あいさつの意味や効果について声をかけ，気持ちのよいあいさつをした児童を認め励ましながら指導することで，児童の意識の高揚を図る。 ・各種たよりや学級懇談会，ホームページであいさつに関する取組を発信するとともに，道徳科の授業や「ひらきたレンジャーがんばりカード」を活用し，家庭や地域と協力した取組を推進する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ２　児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者，地域住民 肯定的回答 85%以上	・「ひらきたよい子の一日」を全職員で共通理解して指導するとともに，児童による毎月の振り返りを行い，きまりやマナーを守る態度を育成する。 ・帰りの会などで，生活目標の振り返りや友達のよい行いを認め合う場を設定する。 ・一斉下校の日には，下校時刻５分前になったら音楽を流すなど，時間を守ることへの意識や周りに対しての配慮を身に付ける手立てを講じる。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ３　児童は，いろいろな分野の本を読み，読書への関心を高めている。 【数値指標】 ⇒児童，教職員，保護者 肯定的回答 80%以上	・家庭でも読書に親しめる機会をもてるよう，家族と一緒に読める本を選ぶよう助言する。 ・『第３日曜日は家庭の日』に併せて，家読を推奨し，家庭での読書活動の機会を設ける。 ・学校図書館司書や委員会活動を中心に，読書に興味をもてるような本を紹介をするなどし，読書への関心を高める。 ・個人懇談期間などを活用し，保護者が図書室に立ち寄れるような機会や場を設定する。		【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7　学校関係者評価

８　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に〇印または該当箇所に下線を付ける。